



# 蒲郡文化

No.225

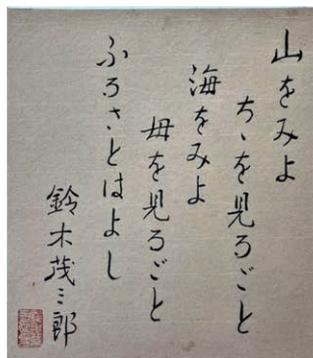
蒲郡市栄町3番30号  
蒲郡市文化協会  
TEL・FAX(0533)68-5509  
URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>  
E-mail [g.bunka@lion.ocn.ne.jp](mailto:g.bunka@lion.ocn.ne.jp)

## 山をみよ 父を見るごと 海をみよ 母を見るごと ふるさととはよし

蒲郡市副市長 大原 義文

蒲郡市文化協会の皆様には、本市の文化の振興と発展にご尽力をいただき厚くお礼を申し上げます。

表題の「山をみよ 父を見るごと 海をみよ 母を見るごと ふるさととはよし」は、本市出身で社会党の委員長であった鈴木茂三郎氏（1893-1970）の詩です。「モサさん」と親しみにあふれた愛称

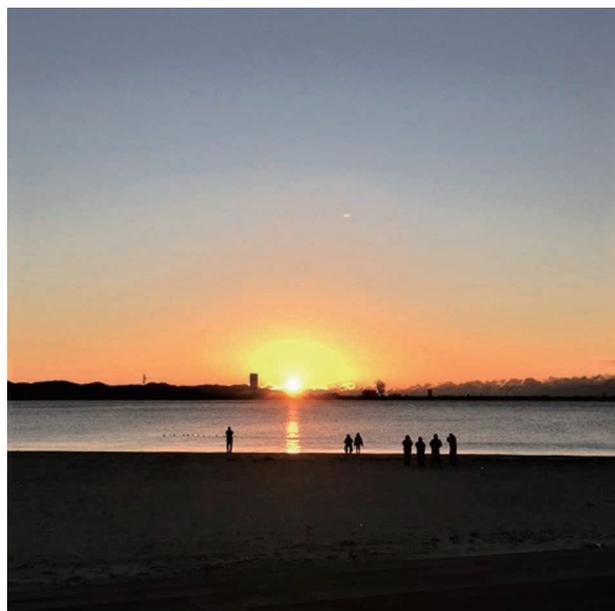


で知られた鈴木氏の詩は、両親への思いや故郷蒲郡への愛情が巧みに表現されており、大好きな詩です。今年、父の七回忌を迎え、年明けに母をおくった私にとっても感慨深いものがあります。

そして、この詩は、2015年国連総会で採択されたSDGs（2030年までに達成すべき17の目標）を例示する先見性を持っていると思います。

私は、愛犬との早朝散歩が日課で、休日には時々海陽町周辺を歩きます。そこからは、波静かな三河湾が眼前に広がり、正面には、渥美半島、西には大島、小島、竹島、西浦半島、東には豊橋の港エリアを見ることができ、「海はまさに母なる海だな」と実感します。また、振り向けば山並みが連なり、新緑の季節は「山笑う」のことばのように、父が微笑みかけているように感じるものです。

この美しい風景は、私たちにとっては当たり前ですが、世界に目を向ければ、2月に突然開始さ



れたロシアのウクライナ侵攻で、多くの人々が死傷し、故郷を追われ避難民となっている現実があります。また、この2年半ほどは、新型コロナウイルス感染症との戦いも続き、平和であること、日常が平穏であることの意味と大切さをこれまで以上に実感しています。

鈴木氏の生家は貧しく「おからのおかゆを泣きながら涙と一緒にすすって食べた日もあった」そうです。氏は、「世の中から貧しき人々をなくす」との決意で生涯を捧げられ、その意味でSDGsの目標1「貧困をなくす」の先駆者でもあります。

SDGsには、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」と、海と山に関する目標が共に入っており、二つが私たちの生命の源であることを示しているといえましょう。

蒲郡市では、昨年度から10年間の計画である第五次総合計画がスタートしています。市の目指す姿として「豊かな自然 一人ひとりが輝き つながりあうまち～君が愛する蒲郡～」としております。先人の詩から伝わる故郷蒲郡への思いを引き継ぎ、市民の皆様と共に未来のまちづくりに取り組みたいと思います。

（参考：蒲郡の人 郷土の偉人たち）

# 令和4年度 文協被表彰者紹介

4月23日の総会において7名の方が表彰されました。

## 《功労賞》

鈴木 博翠【茶道部会】

### 【略歴】

煎茶薫風流として茶道協会に入り、文協会員となる。

'00～'08年 幹事

'09～'10年 理事

'11～'21年 部会長



## 《功労賞》

吉見 稔子【短歌部会】

### 【略歴】

'87年 結社「歩道」に入会

'89年 文協入会

'03～'06年 運営委員

'07～'10年 副部会長

'11～理事。現在に至る



## 《功労賞》

安部 正和【皐月盆栽部会】

### 【略歴】

'71年 文協入会

'75～'99年 幹事

'01～'21年 常任理事

のち部会長



## 《功労賞》

上林 俱文【皐月盆栽部会】

### 【略歴】

'72年 文協入会

'88～'95年 運営委員

'05～'21年 運営委員



## 《功労賞》

近藤 精一【謡曲部会】

### 【略歴】

'09年 宝生流西宝会に入会  
同時に文協入会

'13～'21年 部会長



## 《功労賞》

杉浦 弘保【謡曲部会】

### 【略歴】

'80年 宝生流西宝会に入会  
同時に文協入会

'07～'08年 事務局長

'09～'21年 運営委員



## 《功労賞》

服部 正昭【絵画部会】

### 【略歴】

'98年 文協入会

'13～'17年 運営委員

'18～'20年 部会長



## 令和4年度総会



4月23日(土) 午後1時30分～東ホールにて開催  
今年度から2部会が無くなる事もあり、  
7名の方が表彰された。

## 令和3年度 事業報告および収支決算

- 春の文協まつり：俊成短歌大会は規模縮小にて開催。俳句会は募集句の表彰式のみ。  
菊花部会は屋外で菊苗を配布。芸能発表会は7月に延期をして開催。その他の催事は中止。  
参加者692名
- 市民文化祭：期間 10月30日～11月23日  
部会行事開催延日数33日、協賛行事3日、参加者1,236名+2校
  - ・特別公演：11月3日 能 宝生流「巻絹」入場者数約480人
  - ・浦添市文協交流として、浦添市文協事務局にリモートで配信
  - ・文化財めぐり：11月17日岐阜県「苗木城跡・虎渓山永保寺」参加者54名
  - ・歌・句集「楠若葉40」11月1日発行 短歌52名、俳句113名寄稿
- 文協講座：3講座、開催延日数6日、受講者36名
- 機関紙発行：蒲郡文化220号から223号まで4回発行
- 市民病院ギャラリー展示：9月は全面入替中止、3月は・書道・写真・工芸部会が掛替を実施
- 市民会館ギャラリー展示：写真（7月）、工芸（9月）、県文連美術展入賞作品（11月）、書道（2月）
- 文化事業：2月20日「オーケストラによる午後のコンサート」市民会館大ホール入場者約380人
- 月例茶会：全8回中止
- 総会 4月24日出席会員104名。役員会4回、運営委員会2回、役員・運営委員合同会1回、編集委員会・ポスター委員会・特別委員会等必要に応じ随時開催
- 市役所ロビー生け花展示（毎週生け替え）

### 【収入の部】

### 【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
繰入金	1,099,090	前年度繰越金、積立金	会議費	126,875	総会費
会費	1,945,100	正会員 1,000円×1,216名 18歳未満 300円×147名 特別会員 5,000円×137口	事務費	2,238,954	事務局費、旅費、通信連絡費、慶弔費
事業収入	1,860,100	講座・文化財めぐり参加費、楠若葉投稿料、県美術展出品料、文化事業・記念公演入場料	事業費	5,347,361	機関紙発行、文協まつり、文協講座、市民文化祭、県文連事業、文化事業、文化交流等
補助金	1,600,000	蒲郡市	予備費	0	
負担金	1,500,000	市民文化祭	積立金	51,400	職員退職金、文化事業
雑収入	45,813	利息、コピー代等	繰越金	285,513	次年度へ繰越金
収入合計	8,050,103		支出合計	8,050,103	

## 令和4年度事業計画および収支予算

- 総会    ○春の文協まつり    ○市民文化祭    ○文化事業    ○機関紙「蒲郡文化」4回発行
- 文協講座、月例茶会、ギャラリー展示、県文連事業等についての詳細は4月号に掲載

### 【収入の部】

### 【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
繰入金	385,513	前年度繰越金、積立金	会議費	160,000	総会費、その他会議費
会費	1,876,000	正会員 1,000円×1,140名 18歳未満 300円×120名 特別会員 5,000円×140口	事務費	2,010,000	事務局費、旅費、通信連絡費、慶弔費
事業収入	1,445,000	講座・文化財めぐり参加費、楠若葉投稿料、県美術展出品料、文化事業入場料等	事業費	4,070,000	機関紙発行、文協まつり、文協講座、市民文化祭、県文連事業、文化事業等
補助金	1,100,000	蒲郡市	予備費	40,000	
負担金	1,500,000	市民文化祭	積立金	40,000	職員退職金
雑収入	13,487	利息、コピー等	繰越金	0	
収入合計	6,320,000		支出合計	6,320,000	

## 御堂山の観音堂

相楽町の御堂山(363m)の一带は、三河の守護安達藤九郎盛長が鎌倉幕府源頼朝の命を受けて、三河七御堂の一つとして再興した全福寺があったと伝えられる。

近年は山寺の存在が見直されている。財賀寺(豊川市)普門寺(豊橋市)鳳来寺(新城市)など山には神仏の霊が宿る観念があり、御堂山にも昔は山岳霊場として栄えた時代があった。

当時は、養円寺、勢徳寺、多福院、直諦院、観心寺、般若院、慈雲院、護持院、松本院、千手院、中之院、普門院の12の坊があったと伝えられる。

現在残っているのは養円寺(曹洞宗)だけである。もう一つ残っていた勢徳寺は、約70年前に、豊橋市天白地区の開拓により、希望の灯とし先代の住職が移転した。

相楽町には不動院、正法寺、法信寺、十王堂、庚申堂など仏閣が多く、昔からの隆盛が偲ばれる。

御堂山の観音堂には、本尊の県指定文化財「木造十一面観音立像」が祀られている。平安時代の後期に多くみられる型で、ヒノキ材、一木造りで、頭部・体部を通して根幹部を一材製となっている。後頭部と体部背面から内割を施し、そ



(市博物館提供)

れぞれに蓋板をあて、割首としている。頭部から体部の均整がよく、頬から顎にかけて、ふくよかな感じで、表情におだやかさと優美さをたたえている。中央の仏師の作であろう。像高は172.5cmである。

この観音像は、33年ごとの御開帳で普段は拝観できない秘仏である。隣の収蔵庫に蒲郡市文化財の喚鐘と共に保管されている。

この観音堂付近は、県指定の「ヒメハルゼミの生息地」として知られている。ヒメハルゼミは体長2~3cmぐらいの小さいセミで、毎年7月に出現して、シイの木に群生し、あまり移動しない。リーダーのセミが鳴くと、群れは一斉に鳴きだし、暫くするとピタリと止んで、もとの静寂に戻る。また、観音堂の前の沢地にボダイジュの古木もあり市指定の天然記念物である。文化財や天然記念物に触れて、森林浴を味わうのもよいと思う。

文 林 正夫

### 第三十七回

## 蒲郡俊成短歌大会

4月29日(祝) 中ホール

### 中日新聞社賞

たまさかに会ひたる恩師は九十歳  
すし詰めでしたね六年竹組

加藤美美代

### 選者賞

父母偲ぶよすがもなべてなくなりて  
生家の跡は重機のさざなみ

後藤 厚巳

### 奨励賞

妹は寡婦四十年やうやくに  
白髪染め解かれ面やはらかに

本多 礼子

思ひでは楽しき事のみ残るらし  
いとしてみて聞く母の青春

稲吉 友江

日溜りの中で大きく伸びをする  
猫には猫の楽しみあるらし

齋藤とし子

面会の夫に香りを伝へたし  
庭の水仙切りて持ちゆく

俵 朝子

「買物に行つてきます」と門を出つ  
バックミラーに映る夫の手

藤田 隆子

文協会員のみ掲載  
(詳細はホームページをご覧ください)

# 春の文協まつり

中ホール会場



## 三味線



## 大正琴

トップ出演でしたが、多くの方に見ていただけた。



## 吟剣詩舞



今回久しぶりに全詩文を映し出して、内容が皆さんに少しでも理解していただければと、試みた。

## 相撲甚句

公民館での練習が出来ないなか、色々と工夫をして、稽古を重ねなんとか舞台上げられるように頑張った。



## 雅楽

伝統の継承  
子供はテスト週間と重なり出られない人もいたそうだ。



## 舞踊



まだまだコロナ感染が心配なか気を付けながら振りの手順だけでなく、歌詞の意味合いを少しでも表現できるよう、稽古に励んだ。



# 春の文協まつり

## 市民会館会場



### 書道工芸展 東ホール

5月13日～15日

出品点数  
書道 108点  
工芸 57点



文協講座で、6月から盆石をすることもあり、初日に会場にて実際の作品作りを見ていただき、講座案内をされた。

### 水石展 中会議室

5月21日・22日 出品点数 26点

大きい石が少なくなったが、見ごたえのある展示となっていた。



### 華道展 東ホール

5月21日・22日

出品点数 54点



お茶席もなく、会員も減って寂しく感じたが、池坊、真正流、花月流、天生流、小原流、草月流の各流派が個性ある花を活けていた。



### 俳句大会 大会議室

5月14日(土)

本年度も当日句は取りやめ、募集句だけに絞り、表彰式のみとなった。募集句は、書面選考にて決めさせていただき、詠草集は句会ごとに郵送した。来年度は、楽しく俳句大会が出来ることを願っている。

令和四年度

## 春の文協まつり

### 俳句大会 (募集句の部)

蒲郡市長賞

小野田初枝

墨衣涼しく浄土説かれけり

蒲郡市議会議長賞

小田二三枝

声変りせし子と将棋みどりの日

蒲郡市教育委員会賞

市川 和子

あけぼのの雲に紛れて鴨引けり

蒲郡市文化協会賞

小田紀美子

山里に高く一竿鯉幟

佳作

小田紀美子

山門に猫の顔出す梅日和

金田 満子

れんげ摘むひととき少女の顔となり

石田ヤエコ

潮の香や龍神松の緑立つ

小川 しげ

途切れては又もつながる花筏

# 春の文協まつり

## 博物館ギャラリー会場



### ◀ 絵画展

5月13日(金)～15日(日)

出品点数 43点

会員が減って寂しくなったが、画材、絵の傾向もバラエティーに富んだ作品が並んでいて、非常に良く楽しく見させてもらった。

### 写真展 ▶

5月20日(金)～22日(日)

出品点数 72点

風景が中心でスナップ系が少なくなったが、全紙額が多くなり、見応えのある展示となっていた。



### 水墨画展

5月27日(金)～29日(日)

出品点数 56点

今回、初めての取り組みとして、見に来ていただいた人に顔彩を使っでの水墨画の体験コーナーがあった。

## ●●● 会員ピアザ ●●●

### 第54回 花月展 3月26日・27日

市民会館東ホール

早瀬恵雲社中  
松岡朗雲社中  
山田素峰社中  
竹内慶星社中  
竹内秀雲社中  
板倉澄月社中



秀月会会員の皆さまの作品を展示。多くの参観者でにぎわっていた。

左は家元の作品

## 初心者のための 文協講座

### ゑんの会 三味線教室

5月6日と13日の2回に分けて、杵屋和三園(きねやわさその)さんの指導で、三味線教室を大塚公民館で開催しました。みなさん初めての方ばかりで、最初は三味線や撥(ばち)の持ち方から始め、最後はみんなで「さくらさくら」を演奏するまでになりました。

この講座を受けた方は全員で8人でしたが、そのうち5人は6月から三味線教室に通うことになり、今までやってなかった形原公民館でも教室を開くことになりました。



# お知らせ

## 文化財めぐり参加者募集

11月16日(水)

【行先】 滋賀の名刹 大池寺、永源寺で検討中  
 【参加費】 9,500円の予定 (拝観料・昼食代含む)  
 【締切】 10月28日(金)  
 直接文協事務局へ、又は往復はがきにて  
 参加費は後日納入

## 歌・句集「楠若葉41」投稿募集

【投稿規定】 1人5首または5句  
 【投稿料】 500円 (1冊配本)  
 【締切】 7月27日(水)  
 投稿料 (500円) を添えて文協事務局へ

## 市民文化祭 短歌・俳句募集

【投稿規程】 短歌 未発表近作 1首  
 俳句 未発表当季雑詠 2句

- ・投稿料 無料
- ・応募はがきまたは官製はがきに住所、氏名、電話番号を明記のこと
- ・市内在住・在勤、歌会・句会在籍者、または文協会員であること

【募集期間】 令和4年10月5日(水) 必着

※申し込みはいつでも文協事務局  
 〒443-0035 蒲郡市栄町3-30  
 蒲郡市文化協会  
 電話・FAX 68-5509

## 令和4年度自費出版顕彰の表彰者



句集「福寿草」  
内田陽子



句集「花の宿」  
小田二三枝



クリーンキャンペーン  
5月29日 参加者19名

## お悔み申し上げます

書道部会理事の藤田海陽様が5月15日に御逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

## 市民会館の催し物 (問合せ TEL68-5509)

月例茶会 席主：中野 宗恵(表千家)	7月24日(日)
第56回碩山書院一門展	9月10日(土)・11日(日) 東ホール
月例茶会 席主：平井 宗昌(裏千家)	9月25日(日)
月例茶会 席主：板倉 宗真(表千家)	10月16日(日)

## 図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706) 特別図書整理休館9月24日(土)~30日(金)

読書感想文におすすめの本特集	開催中~ 8月30日(火)
ゾッキ原画展 協力：大橋裕之氏(漫画家)	7月 9日(土)~ 8月28日(日)
交通安全ポスター展	9月 9日(金)~ 9月22日(木)
第45回 図書館文学講座 (講師：黒柳孝夫・愛知大学名誉教授)	9月18日(日) 午後1時30分~3時30分 ところ 蒲郡市民会館 大会議室
絵てがみ展	10月 1日(土)~10月16日(日)
内藤勲の似顔絵ッセイ展パート27	10月19日(水)~10月30日(日)

## 博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)

夏休み子ども工作ルーム	7月16日(土)~ 9月 4日(日)
手織場	7月 1日(金)~ 7月 3日(日)
S L写真とミニチュア機関車展	9月17日(土)~19日(月・祝)
企画展「学制150周年記念 わたしたちの学校」	7月16日(土)~ 9月 4日(日)
企画展「旅に読む 三河の歌人 俳人」	10月29日(土)~11月27日(日)